



根本さん（右から2人目）らと共演し、
「アメイジング・グレイス」を披露する
音楽専門科目受講生ら

帯広三条高校（合浦英則校長）の音楽専門科目受講生と卒業生による初の「ミニコンサート」が16日、同校で開かれ、生徒たちがトランペットや声楽など学びの成果を披露した。

同校は2007年に普通科単位制が導入されたことを受け、「声楽」「ソルフェージュ」（＝読譜）などの音楽専門科目を新設。全国各地の音楽系大学への進学を志す生徒が学びを深めている。

また、同校は21年度から、地元企業や人とつながり、自らの将来や地域の課題解決を考える道教委の「北海道CLASSプロジェクト（地学協働活動推進実証事

帯三条高 音楽の学び披露

専門科目 初の演奏会 卒業生と

業」の研究指定校に選出。このプロジェクトでは、卒業生で、地域で活躍するオーボエ奏者の根本千香子さん（帯広）、ピアニストの東海林加奈さん（同）も指導に関わった。

この日は、ソルフェージュ受講生の西川詩乃さん（3年）がトランペットのソロ演奏を、安齋萌花さん（同）が独唱を披露。2人と2年生の音楽受講生、根本さん、東海林さんが「アメイジング・グレイス」を共演した。

指導する豊田端吾教諭は「音楽系大学の受験を控える3年生は、人の前で演奏したり歌ったりの『本番』を経験できたと思う」と、

初の企画を終えた感想を話していた。

（松岡秀宜）